

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	70	学 校 名	静岡県立浜松北高等学校	記 載 者	鈴木 敏彦
------	----	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
ア	基本的生活習慣の確立と自己管理能力の育成、心身の健康保持・増進と豊かな人間性の醸成	学校生活に関するアンケート（以下「アンケート」）で、「日ごろから気持ちの良い挨拶ができています」と答える生徒が90%以上。 アンケートで、「清潔で端正な服装をするよう心がけている」と答える生徒が90%以上。 アンケートで、「日々の清掃に真剣に取り組むなど、生活環境の整備に努めている」と答える生徒が90%以上。 アンケートで、「授業の開始や集合時間等、時間を守ることができている」と答える生徒90%以上。 ・保健だよりの発行年10回 ・相談室だよりの発行年3回 ・個人面談の実施 年3回以上 アンケートで、「頼れる教員がいる」と答える生徒が80%以上。 アンケートで、「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が90%以上。 アンケートで、「学校行事に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が90%以上。	B	A	・成果目標の意味を再確認する機会として、北高生として、「気持ちの良い挨拶」や「清潔で端正な服装」、「部活動の意義」とは何かを話し合う時間を持ってみてはどうか。 ・気持ちの良い挨拶ができるのに越したことはありませんが会釈ができる程度で良いのではないのでしょうか。 ・挨拶は気持ちが良い。身だしなみは他人の為、清潔は大事であって、生徒の言葉使いで分る。 ・おしなべて、「自主独立（自律）」を校訓、校風とすること及び「北高生の親になる」という言葉に象徴されるように保護者が生徒の「後方支援」を旨として学校生活自体に積極的には関与、介入しないことをむしろ是とする傾向があることを差し引いてアンケート結果等が分析されるべきであるように思う。この点、一部、目標に届いていない項目が散見されるが、全体として大きな問題があるとは思料されない。但し、挨拶についての達成状況が87%に留まることについては、鋭意改善の努力が図られるべきと考える。 ・部活動や学校行事に積極的な生徒が多いことは心身ともに健全なことだと思います。

様式第 5 号

		・図書館だより「Book Cover」の発行 年 6 回 ・読書感想文コンクール参加率 100%			・図書館だよりは大変面白いので続けて欲しいです。
イ	確かな学力と幅広い教養を育む学習指導の充実	アンケートで、「学力が向上する授業が行われている」と答える生徒が 90% 以上。 アンケートで、「勉学に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒が 90% 以上。 アンケートで、「課題、小テストの量は適切である」と答える生徒が 85% 以上。 ・家庭学習時間の平均 平日 150 分以上 ・授業見学週間の実施 年 2 回 ・教育課程検討委員会の開催 年 2 回以上	B	B	・北高の周りには予備校の校舎が林立している。家庭学習の時間を自宅に限ると、目標達成は難しいのではないか。浜松駅周辺などのカフェを長時間占拠している高校生を多く見かけるが、店側が注意喚起や利用時間を制限する事態になっている。本校に限らないこととは思われるが、「エ」の規範意識・マナーとも関連して、学校としての対応も必要ではないか。 ・授業参観を 2 度しましたが、40 年近く前と比較すると、生徒が興味を持てるよう先生方が大変工夫を凝らしていると感心しました。課題、小テストのあり方が検討されたら、その結果を知りたいです。 ・北高らしい授業ができていると思う。 ・学力が高く、教材や授業内容について、批判的に検証し得る能力を備えている生徒が多いことがアンケート結果に反映されているように思う。また、家庭学習時間が目標に達していないことは部活動や学校行事への積極的な取組と表裏であるとも思われる。したがって、目標に届いていない項目が散見されるとしても、全体として大きな問題があるとは思料されない。但し、いずれにしろ（本校においては特に）授業内容改善や課題・小テストの内容改善について不断の取組が必要であることは当然と考える。
ウ	高い志と自主独立の精神に基づく自己実現を支援する進路指導の充実	アンケートで、「将来に対する夢や目標を持っている」と答える生徒が 80% 以上。 アンケートで、「志や進路目標の実現に向けて自主的に取り組む姿勢を育てている」と答える生徒が 85% 以上。	B	A	・生徒の自主的な取組を支援する姿勢を続けていただきたい。 ・学年ごとの進路だよりを拝見しましたが、内容が大変充実していると思うので、生徒がしっかり読んでくれるといいなと思いました。進路指導に関する研修会を年 4 回開催するのも大変でしょうが、今後更に充実を目指すとのこと、期待しています。

様式第 5 号

		・進路指導に関する研修会の開催 年 4 回以上			・生徒が進路指導に対して、どんな要望を持っているのか、分からないが、学校側としては十分に取り組んでいると思われる。 ・例年、他校に類を見ない相当良質な講師による特別講義が実施されている。その他、職業講話等によって「保護者、教員とは別の大人」と生徒たちを交流させる機会を一層、確保するなどして、将来の目標設定を促す取組が、引き続き図られるべきである。
エ	規範意識・マナー、人権意識、社会性・公共性、発想力・創造力、企画・調整力、リーダー性・協調性、国際感覚等を備えた「逞しい人材」を育成するための教育活動の提供	アンケートで、「学校行事はこれから求められることとなる力を育てるものとなっている」と答える生徒が 90%以上。	B	B	・「これから求められることとなる力」とは具体的に何か、教員側と生徒の理解に齟齬はないか。 ・学校行事は伝統ですし生徒も満足しているようですが、そろそろ在り方を考えた方がいいかもしれないと思います。今の時代にあっているのか、行事に満足して人間を小さくしていないのか生徒と一緒に検討して欲しいです。学校の外にも活動の場が広がるよう、生徒に情報をどんどん提供してください。「模擬裁判」等への参加人数が更に増えることを期待します。 ・「模擬裁判」の大会で優勝するなど、論理的に考え、冷静に世に主張できる生徒が多いことはすばらしい。 ・大阪万博が始まる。技術を競う万博見学してほしいと思う。 ・部活動以外の様々な活動は、いわゆる「答えのない問題」についての解法を検討する貴重な機会になることが多いはずである。本校の生徒は特に多忙であるが、こうした部活動以外の様々な活動に対しても、積極的な参加を促したい。
		・「科学の甲子園」「模擬裁判」「スピーチコンテスト」等の大会などに参加する生徒 延べ 100 人以上			
		・校外学修及びオクトーバープロジェクトの満足度 90%以上			
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした信頼される学校づくり・開かれた学校づくりの推進	・PTA総会の保護者参加率 60%以上	B	B	・学校側から家庭への連絡等が適切であると保護者が評価する一方、保護者は必ずしも学校側に協力的とは言えない。保護者の学校に対する姿勢が生徒の学校生活での態度につながることも考えられる。学校から保護者に何らかの働きかけが必要ではないか。
		アンケートで、「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者が 85%以上。			
		・一日体験入学の参加中学生 700 人以上			

様式第5号

		アンケートで、「地域の行事や奉仕活動、社会貢献活動等に参加するなどして、地域社会に貢献しようとしている」と答える生徒が60%以上。 ・学校運営協議会制度への移行 ・協議会の開催 年3回			・生徒が地域の活動をするのは難しいと思います。ただ浜松まつりに参加すれば地域のことがかなり分かると思うのですが、現在高校生の参加はどうなっていますか。 ・保護者が学校に関与するのは大切だと思うが、生徒の自立も重要なので、バランスを保つ程度で十分と思う。 ・コロナ感染より世の中が変わってしまった。奉仕活動・まつり・防災訓練等の行事は参加者が少ない。 ・生徒の地域参加もより一層促したいが、学業、部活等に多忙な傾向に鑑みると、60%以上の目標未達はやむを得ないところもあると思料する。
カ	安全・安心な学校づくりにつながる学習環境の整備・充実	・いじめや体罰等に関する指導案件なし ・街頭指導等の実施 年2回 ・交通事故件数 前年比減 ・防災訓練の実施 年2回 アンケートで、「健康や安全等に関する指導が適切に行われている」と答える保護者が90%以上。 ・AED講習会や熱中症予防講座の実施 ・アンケートで、「教育環境の整備が適切に行われている」と答える保護者が80%以上。	B	B	・防災訓練の実施回数等、実現可能な目標設定だったか見直してはどうか。 ・交通指導、防災訓練、健康講習会はお忙しい中しっかりされていると思います。施設・設備の老朽化は目に余りますが認識され少しずつ改善されているようなので見守りたいと思います。 ・いじめ、体罰とは無縁の学校と思っているが、SNSによるいじめには敏感であってほしい。 ・「3 いじめ・体罰・セクハラに関する対応について『記載のあった件につきましては、管理職が責任をもって聞き取り、対応しました』』としている一方（また「本校に入学してよかった」とするアンケートにも「あまり思わない」「思わない」が合わせて5%回答されている）、「いじめや体罰に関する指導案件なし」とされている点、可能な限りでより実質的な報告を求めたい。すなわち、防対法上の相当広汎な定義に照らした「いじめ」が捕捉しきれていない懸念もあって、例えば長期欠席の生徒の有無等についても念のため報告を求めたいところである。「取り残される生徒」を0ないし最小化するべく、引き続き緊張感を持った教員らの対応が維持されることを期待する。

様式第 5 号

キ	コンプライアンスの徹底と学校における働き方改革の推進	・教職員の不祥事なし ・監査における指摘事項なし ・時間外在校等時間の前年比減 ・夏季休暇取得率 100%	B	B	・教員の働き方改革を進める上でも、夏季休暇取得率は 100%を確保していただきたい。 ・働き方改革の進展は、休み方改革も必要か。 ・カとキは表裏の関係にあると考える。多くのことが求められ、疲弊する教員も増加していることと思料するところ、引き続き働き方改革の推進を期待したい。
---	----------------------------	--	---	---	---